

信州産学官連携 インターンシップ参加レポート



コミュニケーションの
大切さを
実感した3日間

信州大学

工学部 機械システム工学科 3年 野上大雅さん



参加企業 **オリオン機械株式会社**

- 期間 3日間
- 企業業種 製造業
- 体験内容 課題解決型プログラム

インターンシップ実習の目的

完成品メーカーでの設計者の業務の流れや、企業について深く知りたいという気持ちがありました。私は機械全般が好きなので、企業の技術や設計方法などを学生のうちにできる限り、触れておきたいと考えています。その中で、特定のニーズ・需要のある市場に製品を輩出しているこの企業に興味があり、参加を決めました。また、社会人の方や他大学の学生と交流することで、自身の固まった価値観を崩すということも目的のひとつです。

インターンシップスケジュールとその内容

1日目: 自己紹介・業務説明・グループワーク・3DCADの説明

グループワークは3人1組の3グループに分かれ、それぞれがインターンシップ参加前までに考えてきたラフ画を基に製品の仕様を決定するというを行いました。

2日目: グループワーク

3DCADで実際に寸法などを入れて、設計をしました。成果物を印刷する「3Dプリンタ」の見学もさせていただきました。

3日目: グループワーク成果物の発表・会社・工場見学・座談会

印刷が完了したパーツを組み立て、資料を作成し発表を行いました。発表ではグループワークを指導いただいた技術管理部の方からフィードバックをいただきました。本社工場の見学では実際に製造をしている現場を見学させていただき、座談会後には、人事の方から3日間のフィードバック、就職活動に関するアドバイスをいただくことができました。

インターンシップを終えて

実際に設計者の業務や、特注品の設計の流れについても知ることができました。グループワークでは、部品点数の多い製品を設計したので、干渉部分が発生しました。干渉部分の課題解決のために、コミュニケーションをとりながら設計を進めたので、組み立て時には干渉がなく可動させることができました。設計など仕事を進める上でコミュニケーションが大事だと実感しました。他大学の学生と関わることは、発想の部分で非常に刺激を受けました。

実際に作成した3D図面と
制作したスマホスタンドです！



3D図面



学生さんに聞いてみました！

問・インターンシップの満足度はいかがですか？

一つのものを作り上げる達成感を大きく得ることができたので大変満足です。

問・インターンシップに参加した企業の印象をどのように感じましたか？

社員さんの距離感が近く、温かい職場だと感じました。ひとりひとりが意見を出しやすい環境で自然と働きやすさが生まれているのかなと感じました。

問・インターンシップに参加して得られたものは何ですか？

インターンシップを通して、働くことのやりがいや満足度を知ることができ、コミュニケーションの大切さが実感できた3日間でした。自分に足りないものに気が付くことができ、今後何をすべきか、学習意欲を高めることのできるインターンシップとなりました。

